

世のため 人のため

地球のため

よりよい買物の仕方を考えよう
～エシカル消費ってなあに？～

解説書

世界の未来を変えることができるんじゃよ



ルー博士



エシカちゃん



よりよい買物の仕方を考えよう ～エシカル消費ってなあに？～ 解説書



教材のねらい ～エシカル消費を自分ごと化するために～

消費者庁ホームページに掲載されている動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」は人や社会、環境に配慮した消費行動「エシカル消費」をより理解し生活の中で実践するために作成されました。

本教材は、動画視聴とワーク、エシカル消費ゲームなどを複合的に組み合わせ、子どもたちが「社会を変えるお買物」を体感し、自分や家族の消費行動が社会や環境に影響を与えることに気付き、考え、行動する力を育むことを目的としています。

本教材の効果的な活用方法

- 動画視聴、ワーク、エシカル消費ゲームを組み合わせることで、個人学習、グループ学習にも対応可能です。
- 動画では様々な社会的課題を取り上げています。動画視聴後、認証マークの付された商品の解説資料（以下「商品POP」という。）やチャレンジマップを使った「エシカル消費ゲーム」では、人や地域、環境に配慮した商品を選ぶことが社会的課題の解決につながることを学ぶことができます。
- 「調べ学習」では、動画で紹介している認証マークやエシカル消費に関するサイトと連動し、新たな気付きにつなげることが可能です。
- 家庭科、総合的な学習の時間、あるいは学童保育やコミュニティなど地域のイベントでも活用が可能です。

動画、教材
データは
こちらから



動画の付随教材

1 チャレンジマップ

3 商品POPシート

4 認証マーク提示用フリップ

- 国際フェアトレード認証ラベル
- FSC®認証マーク
- MSC「海のエコラベル」
- エコマーク ● RSPO マーク
- 有機 JAS ● 伝統マーク
- SDGs アイコン

5 ワークシート

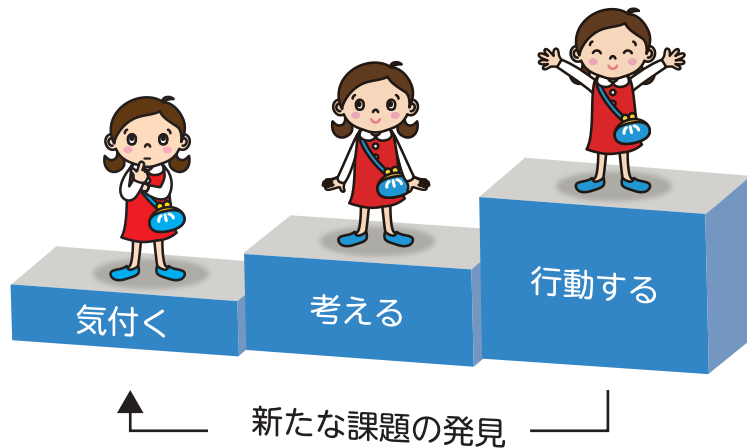
- ワークシート(動画視聴用)
- ワークシート(動画視聴用)低学年・地域用
- 発表シート：個人用
- ワークシート：グループ用

目次

| | |
|--|-------|
| 本教材のねらい、効果的な活用方法、付随教材の紹介、ダウンロード QR コード | 1 |
| 消費者市民社会とは、私たちの身近な課題への気付き | 2 |
| エシカル消費、SDGs とは | 3 |
| 「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？」チャプター別解説 | 4～5 |
| 授業案：個人学習用・グループ学習用・学童クラブ等の地域用 | 6～11 |
| ワークシート：動画視聴用（中学年用）、（低学年用・地域用） | 12～15 |
| 発表シート：（個人用）、ワークシート：（グループ用）、（発展学習用） | 16～18 |
| 発展学習解説 | 19 |

展
開
例

社会的課題に気づき、考え、行動する消費者を育てるために



消費者市民社会とは

消費者教育の推進に関する法律では、「消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会」（第2条）と定義しています。

これは消費者がお互いを尊重し、自分や家族の消費行動が人や社会、環境、地域にどのような影響を与えるかを自覚し、行動することで公正で持続可能な社会をつくろうという考え方です。

「気づき、考え、行動する」消費者を育てることは、消費者市民社会の実現の第一歩とも言えます。

私たちの身近な課題への気づき ～大量生産、大量消費、大量廃棄がもたらしたもの～

産業革命以降、人類は飛躍的な発展を遂げました。そして現代社会に生きる私たちはグローバル化の恩恵を受け豊かで便利な生活を享受しています。

欲しいものがあればスーパーやデパートで、あるいはインターネット等で多くの種類の中から好きなものを安く簡単に購入することができます。

またデジタル技術の進歩により私たち消費者の暮らしは更に利便性が向上すると考えられています。

しかし、その一方で消費者のニーズに応え、利潤追求の経済を背景に大量生産、大量消費、大量廃棄が行われ様々な社会的課題が浮き彫りになっています。

右上の写真は動画でも紹介している昨今話題に上っている海岸に打ち上げられたプラスチックごみの現状です。

海岸に打ち上げられたクジラのお腹からたくさんのレジ袋が出てきたニュースは記憶に新しいところです。

使い捨てプラスチックは長い期間海洋を漂い、海洋生物や環境に悪影響を及ぼしているといわれています。

安く手に入る商品の中には森林破壊や水産資源の乱獲、児童労働などの問題が隠れていることもあります。

持続可能な社会をつくるために、私たち消費者が普段の買物で手にする商品やサービスがどのようなプロセスを経て生産、廃棄されているか、その裏側に潜んでいる問題に「気づく」ことがとても大切です。



動画「エシカル消費ってなあに？」

『6. 大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直す』より



動画「エシカル消費ってなあに？」

『3. 森と森に住む動物を守る』より

“世のため人のため地球のため”の「エシカル消費」を知ろう

エシカル消費で社会の課題を解決！

エシカルは「倫理的」という意味で、人や社会、環境、地域などに配慮した消費行動を「エシカル消費」といいます。

例えば、「国際フェアトレード認証マーク」のついたコーヒーやチョコレートを買うことで開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を支援することができます。

「FSC® 認証マーク」が付いた商品は、適切に管理された森林の木材から作られた製品であることを、「RSPO 認証マーク」が付いた商品は持続可能な方法で栽培されたアブラヤシから取られたパーム油を使用したことを証明しています。

また、「有機 JAS マーク」の付いた商品は農薬などの化学物質に頼らないことを基本に生産された農作物であり、環境に負荷をかけていないことを示しています。

このように、人や社会、環境、地域に配慮した商品を買うことは、資源問題、児童労働などの問題解決につながり持続可能な社会の実現に寄与します。

様々な社会的課題に気づき、考えて商品を選ぶことは「消費者の役割」であり、私たち消費者は「買物」で社会を変える力を持っているのです。

また、「エシカル消費」の実践は、主にSDGsの目標12の「つくる責任 つかう責任」と深く関連し、消費者市民社会の考え方を理解し「エシカル消費」を暮らし中に取り入れることはSDGsの達成にもつながります。

暮らしの中で見られる 様々な認証マーク



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs とは

持続可能な開発目標 (SDGs) は 2015 年 9 月に国連の「持続可能な開発サミット」で採択された 2030 年までの国際目標で、17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。

調べ学習で新たな課題を発見しよう！

いろいろな認証マークについて知りたい

- フェアトレード
ジャパン 
- FSC®
ジャパン 
- RSPO 
- エコマーク
事務局 
- MSC
「海のエコラベル」 
- 日本農林規格
有機 JAS 

エシカル消費について知りたい

- エシカル消費
(消費者庁) 
- 食品ロス削減
(消費者庁) 
- 一般社団法人
エシカル協会 
- 一般社団法人
日本エシカル
推進協議会 
- プラスチック・
スマートキャンペーン
(環境省) 

SDGs について
知りたい

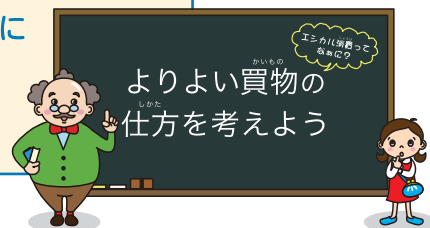
● 外務省
「JAPAN SDGs Action Platform」



「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？」 チャプター別解説

動画メニュー

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. エシカル消費とは？ 2. 働く人たちの生活や環境を守る 3. 森と森に住む動物を守る 4. 熱帯雨林とそこに生きる動物を守る 5. 水産資源や環境を守る | <ol style="list-style-type: none"> 6. 大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直す 7. 地球の資源、環境を守る 8. チャレンジマップにトライ！ 9. おさらい |
|---|---|



| チャプター | 解説 | マーク説明・補足・準備物 |
|---|--|---|
| 1. エシカル消費とは  | <p>エシカル消費とは「倫理的消費」という意味です。分かりやすく言うと「世のため、人のため、地球のためになる「買物」をすることです。</p> <p>買物は個人の自由な選択ですが、社会や環境を考えたよりよい買物は社会の課題解決につながることを踏まえて、2以降を視聴します。</p> | <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 動画「よりよい買物の仕方を考えよう」 ● 動画再生機器 ● ワークシート（動画視聴用） |
| 2. 働く人たちの生活や環境を守る  | <p>身近な商品の中にも、海外の児童労働によって生産されているものがあります。児童労働とは、子どもの教育や健康的な成長を妨げる、法律で禁止されている子どもの労働をいいます。</p> <p>児童労働は低所得国に多く見られます。児童労働が行われると、学校に行つて教育を受けることが出来ません。</p> | <p><国際フェアトレード認証ラベル></p> <p>適正価格の保証により、生産者や労働者の生活改善や自立につながる商品に与えられる認証マークです。</p> <p>途上国で作られた商品を適正な金額で買うことにより、農園などで働く人たちの生活の支援につながります。</p> |
| 3. 森と森に住む動物を守る  | <p>ノートやティッシュなどの紙製品は木から作られています。必要だからといってどんどん切ってしまうと森林が減少し、動物たちが住めなくなってしまう。</p> <p>森を守ることは動物や人間の命を守ることとなります。森林には CO₂や熱を吸収したり水を循環させる役割があります。また洪水や土砂崩れを防ぐ役割もあります。</p> | <p><FSC®マーク></p> <p>きちんとした森の管理につながる木や紙の製品につけられるマークです。</p> <p>このマークがついている商品を買うことで森林を守ることにつながります。</p> |
| 4. 熱帯雨林とそこに生きる動物を守る  | <p>熱帯地方に育つアブラヤシは、食品や化粧品、洗剤など世界で一番多く使われている植物油です。</p> <p>パーム農園を作るために野生動物の生きる場所を奪っています。伐採による熱帯林の減少は希少野生動物の生息域を奪うことになり、生物多様性にも影響があります。</p> | <p><RSPO 認証マーク></p> <p>長く続けられる方法で育てられたアブラヤシから作られたパーム油の製品につけられるマークです。</p> |

| チャプター | 解 説 | マーク説明・補足・準備物 |
|--|---|--|
| <p>5. 水産資源や環境を守る</p>  | <p>今、世界の海の魚の34%が獲りすぎ60%がもうすぐ限界と言われ、獲っても大丈夫な魚は6%しかいません。</p> <p>また、世界の魚の量は、1970年頃から、ほぼ半分になってしまったというレポートもあります。</p> <p>このままでは、将来魚が食べられなくなってしまうかもしれません。魚を獲りすぎると海の生態系を壊すことにもつながります。</p> <p>陸と同じように海の生き物や環境にも配慮する必要があります。 (MSC ウェブサイトより)</p> | <p><MSC「海のエコラベル」></p> <p>魚を獲りすぎないようにルールを守っている商品に付けられるマークです。このマークの付いた商品を買うことで海の環境や魚を守ることにつながります。</p> |
| <p>6. 大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直す</p>  | <p>私たちの暮らしから出たプラスチックなどのごみは、適切に処理されないとやがて海に流れ込み汚染します。それは時間が経つにつれ割れたり裂けたりして魚が飲み込む可能性があります。食物連鎖により人間の身体にも悪影響が出るかもしれません。</p> <p>豊かな暮らしと言われてきた大量生産、大量消費、大量廃棄の生活は海洋プラスチックの問題など環境に悪影響を与えました。私たちが買物の仕方を変えることで環境に与える影響を少なくすることができます。</p> | <p><プラスチックごみを削減するために></p> <p>日本では1年間に9.4百万トンのプラスチック廃棄物が生じていますが、約57%を焼却により熱回収し、リサイクル率は24.8%となっています。</p> <p>各省庁、業界団体、企業、自治体、NGOなど幅広い主体の積極的な取組を情報発信し、更なる促進を目指すことを目的としてプラスチックスマートキャンペーンを行っています。</p> <p>“プラスチックとの賢い付き合い方”を共有することで、使い捨てプラスチックの削減につながることを期待されます。 (環境省「プラスチックスマートキャンペーン」についてより) ※関連サイトはP3「調べ学習で新たな課題を発見しよう!」をご覧ください。</p> |
| <p>7. 地球の資源、環境を守る</p>  | <p>地球の資源には限りがあります。私たちは商品を買って使う時から捨てる時まで考える必要があります。</p> <p>例えばエコマークの付いたボールペンはリサイクルによって作られています。このような商品を選ぶことは、ごみを減らし資源を節約することにつながります。</p> | <p><エコマーク></p> <p>商品を作るときや使うとき、使った後も環境のことを考えて作られた商品に付けられるマークです。</p> <p>エコマークの周りに文字でどのように環境に配慮しているかを表示している商品もあります。</p> |
| <p>8. チャレンジマップにトライ!</p>  | <p>「チャレンジマップ」と商品POPを使い、認証マークの付いた商品を買うと人や社会、環境にどのような影響があるか考えます。</p> <p>※「チャレンジマップ」を活用したワークショップについては授業案をご覧ください。</p> | <p>【準備物】</p> <p>チャレンジマップ、商品POP、商品POPシートなど。</p> <p>※画像を一旦停止して、起きている問題やマークの振り返りをすると取り組みやすいでしょう。</p> |
| <p>9. おさらい</p>  | <p>エシカル消費は難しいことではありません。</p> <p>社会、環境、地域に配慮した商品を買うことにより、環境問題や資源問題、児童労働などの問題解決につながり持続可能な社会の実現に寄与します。</p> | <p><SDGs との関連></p> <p>エシカル消費への取組は、SDGsの17の目標のうち、主に12(つくる責任つかう責任)に関連します。</p> |